

# Weekly Bulletin

2022-2023



RI会長  
ジェニファー・ジョーンズ



IMAGINE  
ROTARY

静岡東ロータリークラブ

会長/山下勝央 幹事/杉山輝光

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長  
山下勝央

第3036回例会

令和4年10月20日

《司会》 杉山輝光 君

《合唱》 それでこそロータリー

《ソングリーダー》 川崎依子 君

《ゲスト》 静岡大学名誉教授 今野 喜和人様

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

・お誕生日

10月26日 杉田 至弘君

・結婚記念日

10月26日 竹内 竜也君

10月27日 杉田 至弘君

《会長挨拶要旨》 山下 勝央 会長

今日は自分が乗っている営業車のお話をさせていただきます。弊社の車は工事会社の為、工事用車両が中心で、宮崎会員のHoQ ホールディングさんからと、森下会員の静鉄グループのトヨタユニテッドさんから購入しております。

昨年9月に弊社のSDGsへの取り組みを、日本格付研究所(JCR)に認定頂けたという大変名誉ある出来事がきっかけで、FCEV(燃料電池車)ミライを購入しました。この車はガソリンの代わりに水素を燃料とします。車に充填された水素と酸素を化学反応させて電気を起こし、発生した電気を燃料電池のバッテリーに充電し、車を動かします。

ガソリンを使わないのでこの車からはCo2の排出は無く、水素と酸素の化学反応で発生する水を出しながら走ります。よく聞かれる質問が2つあります。

1. ガソリンと比較するとコストはどの様な？
2. 一度水素を入れると何km走るの？ です。

一つ目の質問の答えは、2500ccのカムリとの比較になりますが、1km走るのにカムリは12円、ミライは14円です。

二つ目の質問の答えは、1回の満タン充填で450~490km走ります。水素の為、充填する時の気温により、誤差が出るようです。

現在水素スタンドは県内に3か所。松山会員のカネボウ通り沿いの静岡ガスさんがやっている水素スタンドと、浜松と御殿場です。来年には清水にもできる予定があるとの事で、早く水素スタンドが増えて、環境に優しい水素自動車が増えれば良いと思います。

《来賓卓話》

「静岡のクラーク先生をご存知ですか」

静岡大学名誉教授 今野 喜和人様

《卓話サマリー》

『自己紹介』

・静岡大学人文社会科学部で仏語・仏文学および比較文学比較文化を担当(2年前定年退職)。静岡日仏協会会長。静岡学問所で高度な仏語教育が行われていたことから関心を持ち、次いで比較文化の関係で来日外国人の異文化体験に興味を抱き、クラークを授業でも扱う。クラークの功績を称える声が聞こえてこないため、「W・E・クラーク顕彰事業実行委員会」として活動中。

『エドワード・ウォレン・クラークとは』

・1849年米国・ニューハンプシャー生まれ、父は牧師。ラトガーズ大学に学び、同時期に先に日本のお雇い外国人となるW・E・グリフィスが在籍。同大学には日本人留学生も複数在籍。

- ・グリフィスと共に欧州へ行き、ジュネーブで学び、1871年に米国へ戻る。同年（明治4年）10月に横浜に来着。

#### 『クラークの静岡での功績、顕彰すべき理由』

- ・明治初期、当時の日本で最高峰の教授陣を揃えた静岡学問所に、勝海舟の斡旋によりわずか22歳で赴任、静岡における初のお雇い外国人教師、初の英語ネイティブ教師。
- ・専門の物理化学では実験主体の近代的教育を行い、さらに自然科学・人文科学の全般、英語・フランス語を二年間にわたって熱心に教育し、多くの後進を育てた。
- ・講義録の『幾何学原礎』は明治期、ユークリッド幾何学の教科書として全国で用いられた。
- ・持参した写真機で静岡学問所および明治初年の静岡の貴重な風景を後世に残した。
- ・明治期のベストセラーとなった中村正直（敬宇）の『自由之理』の翻訳



に協力して序文を執筆。交友は長く続き、東京では中村の同人社の運営にも協力。後に「静岡バンド」

と称されるようになるプロテスタント改宗者の一団に直接・間接の影響を与えた。

- ・ポケットマネーでアメリカから輸入した最新鋭の幻灯機を用いて、学校内および自宅で、生徒や市民に対して西洋の事情を知らせた（近代的幻灯機の日本導前）。
- ・太平洋側唯一の油田である相良油田の発見時、採取された液体が石油であることを同定、発掘方法についても助言。
- ・駿府城内に自身設計の二階建て石造りの邸宅を建て、静岡に初めて西洋建築の実物を示した。
- ・アメリカ帰りの料理人（仙太郎＝日本最初のバプテスト教会信者）を雇い入れ、多くの客を招くことで、本格的な西洋料理を初めて静岡の地に紹介。
- ・明治5年の学制発布に伴い、静岡学問所を含む地方の学校が廃止され、日本が中央集権的教育体制（東京への一極集中）を採ったことに反発して、意見書を提出した。

- ・静岡赴任当時、未だ禁教とされていたキリスト教について、自由に語ることを政府に認めさせた（開港地における黙認以外では初の許可）。
- ・キリスト教伝道の一環であるが、自身所有のオルガンを演奏して、西洋音楽を初めて静岡の地に伝えた（東京時代に平岩愼保牧師のキリスト教接近のきっかけとなったほか、浜松の音楽産業発展にインパクトを与えた可能性あり）。
- ・アメリカ帰国後、上記の幻灯機を利用して全米各地で講演会を行い、日本や静岡の事情（静岡の茶栽培を含む）について広報を行った。
- ・帰国後経営することになった農園を「シズオカ」と命名。
- ・日露戦争時、勝海舟の伝記を執筆するなどして、アメリカの世論が日本側に同情的になるよう努めた。
- ・日露戦争によって生まれた日本の戦争孤児に対し、募金活動を行い、上記の勝海舟伝の売り上げを全額寄付した。

#### 『顕彰のためのアイデア』

- ・お堀端の旧クラーク邸近くに銘板の作成
- ・「クラーク先生の散歩道」設定、マップ作成、案内板設置
- ・中高生のための副読本完成
- ・「クラーク先生のライスケーキ」の販売

#### 《所感》

この偉大な先人のことを全く知りませんでした。22歳と言う若さで異国の地に渡る勇気、その先見の明、様々な障壁を乗り越えた活力や行動力に大きく感嘆いたしました。

いくつになっても学びの心を忘れず、地域や社会に貢献できる様に行動していこうと強く思いました。この思いを忘れぬ様、早速静岡学問所の記念碑を見に行ってきます。

#### 《スマイル報告》

由利 浩志君（結婚記念日の御礼）

山川 雅久君（結婚記念日の御礼）

谷口 智康君 杉田先輩の誕生日をお祝いさせていただきスマイルさせていただきます。

佐橋 徹君 先週はガバナー公式訪問、パスト会長会議を欠席致しました。スマイルします。

（会報作成 栗木 良彦）